

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	さかいっこひろば管理運営事業				事業番号	014-132	
担当部署名	こども青少年局	局	こども青少年育成部	部	こども育成課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	施策	(1)妊娠から学齢期まで切れめのない子育て支援の充実
			有	取組の方向性	①妊娠・出産期から乳幼児期までの子どもと家庭への支援		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025	施策との関連	有・無	目標値	—	目標値	—
			無	現状値	—	目標値	—
		寄与するKPI	有・無	ゴール	—	ターゲット	—

2	関連計画	堺市こども計画		
3	事業開始年度	令和 3 年度	点検対象年度（個別計画）	令和 11 年度
4	実施根拠	児童福祉法、地域子育て支援拠点事業実施要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	0から12歳までの子どもとその保護者				対象数	単位
						—	—
7	事業の目的	親の子育てへの不安感や負担感を軽減し、親育ち・子育ての支援、地域の子育て力向上等により、地域において安心して子育てができる環境を整備する。					
8	事業内容	「さかいっこひろば」の絵本や交流で楽しく過ごす「つどいの場」と遊具等で体を動かして遊ぶ「あそびの場」の2つのスペースを活用して、子どもとその保護者の集い・憩い・交流・学びの場や機会を提供する。また、子育てに関する相談や情報提供を行う。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	公益財団法人 大阪YMCA					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和11年度
	利用者の満足度	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	98	98		
			達成率	98%	98%		
当該指標を選定した理由		施設利用者の満足度により、事業の実施状況や効果を把握できるため					
目標値の設定根拠・算出方法		事業目的の達成状況を把握するための指標として設定・利用者アンケートにより把握					

12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	年間延べ利用者数	人	目標値	90,000	90,000	90,000	
			実績値	85,920	83,853		
			達成率	95%	93%		
当該指標を選定した理由		年間延べ利用者数により、事業の需要や利用状況（進捗）を把握できるため					
目標値の設定根拠・算出方法		過去の実績等を勘案して設定					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	さかいっこひろば管理運営事業	事業番号	014-132
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量												
事業コスト			※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）									
13	財 源 内 訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度				令和8年度	
			決算		決算		当初予算		決算		当初予算	
		事業費（a）	29,162		29,440		32,272		29,494		44,872	
		国支出金	3,083		9,802		10,757		9,815		14,948	
		府支出金	3,083		9,802		10,757		9,815		14,948	
		市債	0		0		0		0		0	
		その他（光熱水費等徴収金）	0		33		37		35		28	
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0		0		0	
		一般財源	22,996		9,803		10,721		9,829		14,948	
14	人件費（b）	2,645		2,430		2,520		2,520		2,610		
15	年間経費（c）=(a)+(b)	31,807		31,870		34,792		32,014		47,482		
事業費の内訳			（単位：千円）									
16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	
		消耗品費・印刷製本費・修繕料	R7	決算	281	95	備品購入費	R7	決算	87	29	
			R8	予算	2,000	664		R8	予算	1,200	400	
		通信料・手数料・保険料、広告料	R7	決算	252	84	管理費・各種団体会費等	R7	決算	7,559	2,486	
			R8	予算	978	326		R8	予算	10,316	3,430	
		ひろば運営業務	R7	決算	20,274	6,758	報償費	R7	決算	41	41	
			R8	予算	27,654	9,218		R8	予算	0	0	
		その他維持管理	R7	決算	884	296		R7	決算			
			R8	予算	2,370	792		R8	予算			
		使用料及び賃借料	R7	決算	116	40		R7	決算			
			R8	予算	354	118		R8	予算			

Ⅳ. 事業の効率性					
単位当たり経費					
17	①	年間延べ利用者数	人	令和6年度	令和7年度
	②	上記①にかかる年間経費	千円	31,870	31,973
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	371	381
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価	
費用対効果に係る所見	
18	令和6年度と比べ、延べ利用者数は減少し、目標値に対しても未達となっている。一方で、年間経費は概ね横ばいで推移しているものの、微増にとどまるものの、利用者数の減少により単位当たり経費は増加しており、効率性はやや低下している。一方で、利用者満足度は98%と高水準を維持しており、サービスの質自体は確保されているものの、利用者数の減少により総体としての事業効果が縮小している。今後は制度周知の工夫等により利用拡大や認知度向上を図り、事業効果の向上につなげる。
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	本事業は、子育て親子の交流の場の提供や相談対応を通じて、子育てに対する不安や負担感の軽減、孤立化を防止し、妊娠・出産期から乳幼児期まで切れ目のない子育て支援の充実や、地域全体で子育てを支える環境整備の推進に寄与している。
令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）	
20	必要性 ■ 高い □ 低い 有効性 ■ 高い □ 低い 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減少したものの、その後は回復し、現在も年間80,000人以上の利用があることから、親子が気軽に利用できる交流の場に対するニーズは継続して存在している。本事業は、親子の居場所の提供や相談支援を通じて、子育て不安の軽減や孤立防止に寄与するものであり、事業目的の達成に有効に機能しており、必要性・有効性ともに高いと評価できる。